

# 生活保護制度研究会のご案内

## 講演会と「研究会」を企画しました

生活保護制度の意義と在り方について研究しています

碓井さんに講演していただいたあと、

福祉関係者の皆様と制度の在り方について意見交換を行います

お気軽においでください。

## I 部 講演 テーマ「熱血ケースワーカー物語」 碓井 伸吾 氏



講師紹介 市役所に入職し福祉事務所において、高齢者担当、生活保護担当などのケースワーカーとして十五年間勤務。“熱血ケースワーカー”と呼ばれる。阪神大震災後には、震災担当として支援活動に従事。その後ワールドヒューマン空手道を目指す「空手道誠空会」を設立し、2016年まで誠空会総本部館長。青少年、社会人に空手道の指導を行う。現在は、介護施設相談員として活躍。「実録！熱血ケースワーカー物語（講談社）」、「格闘王（幻冬舎）」など著書多数。TV等にも出演。

## II 部 生活保護制度に関する意見交換 司会・課題の提起 柴田 純一

### 研究会の内容

生活保護制度は国の社会保障の土台ですが、これまで十分理解されてきませんでした。

最近で言えば、2012年に、芸能人のお母さんが保護を受けていたことが社会問題となり、生活保護の受給手続きの厳格化が求められ2013年に法律が改正されました。一方で保護を必要とする人々が受給できずに亡くなるなどの事件も起き、国会が受給の抑制をしないように決議をする事態ともなりました。

今回は、制度に携る職員の在り方も問われる中、碓井さんに、制度の担い手の現状と課題についてお話しをうかがいます。その後柴田が生活保護制度の運用の在り方について課題の提起を行い、参加された皆様と生活保護制度に関する意見交換をしたいと思います。

要保護者の支援に係る皆様、またテーマに関心のある方は是非ご参加ください。

日時 2017. 9. 30(土) 14:00~17:00 (13:30開場)

会場 岐阜市生涯学習センター(ハートフルスクエアG) 2階 (案内は裏面参照)  
クラフト室 岐阜市橋本町(JR岐阜駅 併設) ☎058-268-1050

参加 下記柴田のメールに「研究会参加」とお書きの上お名前を送信してください。  
参加は無料です。

連絡先 代表 柴田 純一 中部学院大学  
大藪 元康 同

[shibajun@chubu-gu.ac.jp](mailto:shibajun@chubu-gu.ac.jp)

[oyabu@chubu-gu.ac.jp](mailto:oyabu@chubu-gu.ac.jp)

2017年8月

---

※ 会場のご案内 (ハートフルスクエアG)

交通手段

電車でお越しの場合

JR 岐阜駅より徒歩 2 分。(駅構内から 2 F 連絡通路で通じています。)

名鉄岐阜駅より徒歩 5 分。

自転車でお越しの場合

駐輪場をご利用下さい。(1 日 1 回につき 1 2 0 円。施設利用の場合は駐輪料金が免除になります。)

車でお越しの場合

南側の駐車場入り口より、3F 駐車場をご利用下さい。

※施設ご利用以外の駐車はご遠慮ください。

※駐車場入り口へは、JR から東へ進行していただき、左折のみ入庫が可能となっています。

ハートフルスクエアG

東海道本線の高架下の建物です

⇒ 名古屋方向

